

日本皮膚科学会・雑誌論文賞歴代受賞者

令和 7 年度現在

No.	年	論文名および掲載誌	著者	所属
1	平 9	HIV 感染者における Kaposi 肉腫－20 例の臨床的、組織学的検討－ 日本皮膚科学会雑誌,106(8):1071-1082,1996.	赤城 久美子	都立駒込
2	平 10	病院職員 14 名にみられたパルボウイルス B19 感染症－風疹の鑑別疾患としての重要性について－ 日本皮膚科学会雑誌,107(5):623-629,1997.	田嶋 徹	慈恵医大
3	平 11	電気メスによると考えられる術後臀部皮膚障害 日本皮膚科学会雑誌,108(13):1863-1870,1998.	林 伸和	関東通信
4	平 12	Vibrio vulnificus 感染症－診断と治療のフローチャートの試み－ 日本皮膚科学会雑誌,109(6):875-884,1999.	古城 八寿子	熊本中央
5	平 13	Hair-discoloration of Japanese elite swimmer <i>The Journal of Dermatology</i> ,27(10):625-634,2000.	南光 弘子	東京厚生年金
6	平 14	全身性強皮症の臨床像と特異抗体の関連－自験例 158 例の検討－ 日本皮膚科学会雑誌,111(5):827-836,2001.	秋元 幸子	群馬大
7	平 15	北海道のマダニ刺咬症－ライム病発症との関連－ 日本皮膚科学会雑誌,112(11):1467-1473,2002.	橋本 喜夫	旭川医大
8	平 16	糖尿病性足病変患者の生命予後－自験例 140 例の臨床像と予後因子の検討－ 日本皮膚科学会雑誌,113(2):135-144,2003.	宮島 進	大阪厚生年金
9	平 17	悪性黒色腫の sentinel node biopsy および病理組織学的検討 日本皮膚科学会雑誌,114(1):15-24,2004.	野呂 佐知子	国立がんセンター中央
10	〃	Negative Feedback Regulation of Phosphatidylinositol 3-Kinase/Akt Pathway by OverExpressed Cyclooxygenase-2 in Human Epidermal Cancer Cells, <i>The Journal of Dermatology</i> ,31 (7):516-523,2004.	武田 浩一郎	鹿児島大
11	平 18	本邦における Drug-induced heypersensitivity syndrome 94 症例の臨床的検討－HHV-6 陽性例と陰性例の比較検討－ 日本皮膚科学会雑誌,115(12):1779-1790,2005.	中村 和子	横浜市大
12	〃	Impaired Contact Hypersensitivity Reactions and Reduced Production of Vascular Endothelial Growth factor in Tumor Necrosis Factor- α Gene-Deficient Mice, <i>The Journal of Dermatology</i> ,32(7):523-533,2005.	柴田 真里	昭和大
13	平 19	乾癬特異的 QOL 指標 Psoriasis Disability Index (PDI) 日本語版の開発と信頼性・妥当性の検討 日本皮膚科学会雑誌,116(11):1583-1591,2006.	福地 修	慈恵医大
14	〃	Vaccination of Japanese patients with advanced melanoma with peptide, tumor lysate or both peptide and tumor lysate-pulsed mature, monocyte-derived dendritic cells. <i>The Journal of Dermatology</i> ,33(7):462-472,2006.	中井 章淳	京都府医大
15	平 20	頭部脈管肉腫における血管新生因子の役割 日本皮膚科学会雑誌,117(11):1727-1735,2007.	天羽 康之	北里大
16	〃	Efficacy of interferon-g in patients with refractory bullous pemphigoid. <i>The Journal of Dermatology</i> ,34(11):737-745,2007.	名嘉真 武国	久留米大

日本皮膚科学会・雑誌論文賞歴代受賞者

令和 7 年度現在

No.	年	論文名および掲載誌	著者	所属
17	平 21	皮膚科外来手術患者の術後早期入浴－手術部位感染との関連についての検討－ 日本皮膚科学会雑誌,118(10):1947-1952,2008.	高橋 明仁	新潟県立がんセンター
18	〃	Six novel mutations of the ADAR1 gene in patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria : Histological observation and comparison of genotypes and clinical phenotypes. <i>The Journal of Dermatology</i> ,35(7):395-406,2008.	近藤 泰輔	名古屋大
19	平 22	国立がんセンター中央病院における血管肉腫 37 例の統計学的検討 日本皮膚科学会雑誌,119(7):1245-1253,2009.	上原 治朗	旭川医大
20	〃	Scalp dermoscopy of androgenetic alopecia in Asian people. <i>The Journal of Dermatology</i> ,36(2),82-85,2009	乾 重樹	大阪大
21	平 23	抗血小板薬内服下の皮膚科小手術の安全性に関する検討 日本皮膚科学会雑誌,120(1):15-21,2010.	石塚 洋典	筑波大
22	〃	New non-invasive method for evaluation of the stratum corneum structure in diseases with abnormal keratinization by immunofluorescence microscopy of desmoglein 1 distribution in tape-stripped samples. <i>The Journal of Dermatology</i> .37(10),873-881,2010.	雄山 瑞栄	新生会八幡
23	平 24	RI・色素法併用によるセンチネルリンパ節生検を施行した皮膚悪性腫瘍135例の検討 日本皮膚科学会雑誌,121(11):2265-2271,2011.	川村 龍吉	山梨大
24	〃	Analysis of dermatomyositis-specific autoantibodies and clinical characteristics in Japanese patient <i>The Journal of Dermatology</i> , 38(10):973-979, 2011.	池田 信昭	横浜市大
25	平 25	術後補助療法 (DAVFeron, フェロン療法, フェロン維持療法) は悪性黒色腫ステージII・III患者の予後を改善するか: 831例の解析 日本皮膚科学会雑誌,122(9):2305-2311,2012.	藤澤 康弘	筑波大
26	平 26	牛肉アレルギー患者20 例の臨床的および血清学的解析 日本皮膚科学会雑誌,123(9):1807-1814,2013.	千貫 祐子	島根大
27	平 27	Intravascular large B-cell lymphoma疑診例に対して施行したランダム皮膚生検33名の検討 日本皮膚科学会雑誌,124(7):1305-1311,2014.	辻脇 真澄	北海道大
28	平 28	咽頭ぬぐい液からの風疹ウイルスゲノム検出法は麻疹や薬疹との早期鑑別に有用である 日本皮膚科学会雑誌,125(5):1017-1028,2015.	今泉 牧子	昭和大
29	平 29	Real-time PCR および nested PCR 法を用いたリケッチア症迅速診断の有用性: 島根県における 11 症例の検討 日本皮膚科学会雑誌,126(11),2117-2126,2016.	新原 寛之	島根大
30	平 30	強皮症腎クリーゼにおける前駆症状 日本皮膚科学会雑誌, 127(6),1323-1330,2017.	木村 浩	加賀市医療センター

日本皮膚科学会・雑誌論文賞歴代受賞者

令和 7 年度現在

No.	年	論文名および掲載誌	著者	所属
31	令和元	ニボルマブ投与後の他剤による薬疹の検討 日本皮膚科学会雑誌, 128(10), 2109-2116, 2018.	新川 衣里子	神戸大
32	令和2	皮膚科医による基底細胞癌の側方マージン設定の正確性に関する検討 日本皮膚科学会雑誌, 129(10), 2157-2164, 2019.	齋藤 晋太郎	群馬大
33	令和3	横浜市立大学附属 2 病院における Stevens-Johnson 症候群および中毒性表皮壊死症 132 例の検討 日本皮膚科学会雑誌 130(9), 2059-2067, 2020.	渡邊 友也	横浜市大
34	令和4	浜松医科大学皮膚科における発汗試験（スポット法）の実際と特発性後天性全身性無汗症 30 症例の発汗障害部位のまとめ 日本皮膚科学会雑誌 第 131 巻第 4 号 707-711, 2021	影山 玲子	浜松医大
35	令和5	獣肉アレルギー患者 10 例の臨床的特徴および血清学的解析 日本皮膚科学会雑誌 第 132 巻第 10 号 2339-2350, 2022	原田 朋佳	兵庫県立 加古川医療 センター
36	令和6	免疫チェックポイント阻害薬投与中に生じた皮膚症状と抗腫瘍効果との関連性～当科において経験した 110 名の臨床的検討～ 日本皮膚科学会雑誌 第 133 巻第 12 号 2825-2836, 2023	入江 絹子	福島県立 医大
37	令和6	足趾巻き爪の形成要因となり得る運動機能障害と足趾変形に関する解析 日本皮膚科学会雑誌 第 133 巻第 11 号 2589-2597, 2023	今井 亜希子	東京医科歯 科大／ひか り在宅クリ ニック
38	令和7	過去 20 年間に当科で経験した結節性紅斑における，基礎疾患および関連因子の変遷 日本皮膚科学会雑誌 第 134 巻第 12 号 3001-3009, 2024	草野 美沙希	福島県立 医大